取扱説明書

AEW・HAEW・CFW・AWM型

この度はTRUSCO作業台AEW・HAEW・CFW・AWM型をお買上げいただきまことにありがとうございます。本製品は、付属の工具(六角レンチ)1本で組立てられるシンプルな構造です。また、美しい仕上げを施してあり、組立・梱包・仕分作業等にも適しており、オフィス・工場・学校・作業室などで末永くご使用いただけます。

(H)AEW型	均等静止荷重	500kg
CFW型	均等静止荷重	500kg
AWM型	均等静止荷重	250kg

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

安全上のご注意 (必ずお守り下さい。)

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

⚠ 警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■表示荷重以上の荷重をかけない
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■不安定な場所に設置しない
作業台が転倒したり、積載物が落下して、怪我をする恐れがあります。

■キャスター付での使用時は、"キャスターの耐荷重""作業台の耐荷重×$\frac{1}{2}$"のどちらか小さい方の荷重以下で使用する

■側面や正面からの大きな力をかけない
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■キャスター付での移動時は、天板の上に物を置いたり、作業はしない。また、運搬に使用しない
作業台が転倒したり、積載物が落下して、怪我をする恐れがあります。

⚠ 注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置しない。また、ぬれたものを置かない
作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■組立は、この組立・取扱説明書に記載の組立て手順に従う
手順を誤ると組立中に部品が外れたり倒れたりして怪我をする恐れがあります。

■脚部のすき間に指を入れない
指が抜けなくなったり、怪我をする恐れがあります。

■表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけない

■天板面は必ず水平になるよう、アジャスターを調節して使用する
傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■作業台の切断、改造をしない
作業台が不安定になり、危険です。
また、切断のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■作業台の上横桟・下棚の端面を素手で触らない
鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

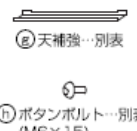
■高さ調節を行う際、必ず軍手等保護具を使用し、高さ調節金具をしっかりはめこむ。また、作業台を裏返して行う
すき間に指を挟んだり、作業台が傾いたりして怪我をする恐れがあります。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡しください。
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

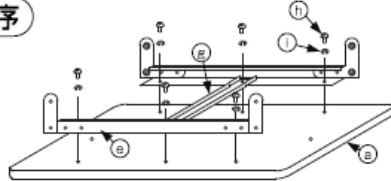
AEW・HAEW・CFW・AWM型　作業台 組立説明図

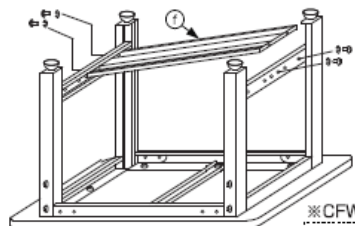
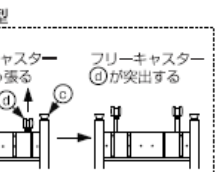
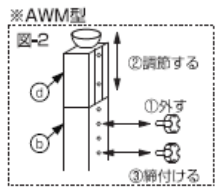
組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認下さい。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立てて下さい。

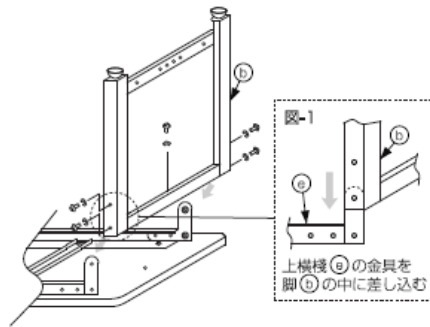
※ⓖ天補強、ⓗボタンボルト、ⓘSWの数

品　番	入　数		
	ⓖ	ⓗ	ⓘ
(H)AEW・CFW・AWM-0960、0975	−	18	18
(H)AEW・CFW・AWM-1260、1275	−	18	18
(H)AEW・CFW・AWM-1575、1590	1	※21	※21
(H)AEW・CFW・AWM-1875、1890	1	※21	※21

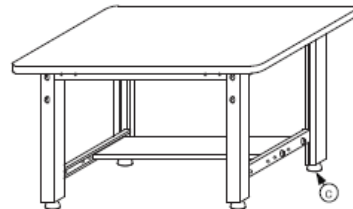
※ (H)AEWP・CFWP・AWMP・(H)AEWR・CFWR・AWMR型でⓖ天補強がある場合、ⓗボタンボルトとⓘSWは各1個ずつ余ります。

組立順序

(H)AEW, CFW, AWM型

1. 1の箱から天板 ⓐ を取出し、裏面(埋込ナット有)を上に向けて下さい。次に3の箱から上横桟 ⓔ を取出し、天板 ⓐ のナットに合わせ(天補強ⓖ同梱の機種は中央へ一緒に取付)、SWⓘとボルトⓗで仮止めして下さい。
   ※天補強ⓖは、間口1500mm・1800mmタイプのみあります。

図は(H)AEW型(CFW型, AWM型も同様に組立てて下さい。)

2. 2の箱から脚ⓑを取出し、図-1のように上横桟ⓔの取付金具を脚ⓑの中に差し込み、ボルト穴を合わせ、SWⓘとボルトⓗで仮止めして下さい(4ヶ所)。次に脚 ⓑ の上桟のボルト穴を天板 ⓐ のナットに合わせ、SWⓘとボルトⓗで仮止めして下さい(1ヶ所)。
   ※脚ⓑは左右あります。もう片方も同様に取付けて下さい。

図は(H)AEW型
(CFW型, AWM型も同様に
組立てて下さい。)

3. 3の箱から下棚 ⓕ を取出し、脚 ⓑ の下桟の間にはめ込み、手前・奥・中央のいずれかの位置(図は奥に取付)のボルト穴に合わせ、SWⓘとボルト ⓗ で仮止めして下さい(4ヶ所)。次に**1**.**2**.**3**.で仮止めしたボルトⓗを六角レンチⓙでしっかりと締付けて下さい。
   ※AWM型の高さ調節は、図-2のように脚 ⓑ の内側にあるノブボルトを外し、ストローク脚 ⓓ を調節して、任意の高さのボルト穴に合わせ、再びノブボルトでしっかりと締付けて下さい(2ヶ所)。他3本のストローク脚ⓓも同じ高さに調節して下さい。
   ※CFW型はアジャスター ⓒ が突出していれば、図-3のようにフリーキャスターⓓが突出した状態に必ずして下さい。

図は(H)AEW型

4. 組立完了後に作業台を起こし、任意の場所に設置し、アジャスター ⓒ で水平調節を行い、脚4本が床面に接地しているのを確認してからご使用下さい。
   ※(H)AEW型・AWM型のキャスター付の場合はアジャスター ⓒ を外し、かわりにキャスターをネジの根元までしっかりと締付けて下さい。
   ※CFW型は『操作方法』をご覧のうえ、操作して下さい。

仕様　(H)AEW型 耐荷重（均等静止荷重）500kg　CFW型 耐荷重（均等静止荷重）500kg　AWM型 耐荷重（均等静止荷重）250kg

間口(W)×奥行(D)	AEW型・CFW型 高さ(H)mm	HAEW型 高さ(H)mm	AWM型 高さ(H)mm	25mmダップ樹脂天板	25mmリノリューム天板	25mmスチール天板	特　徴
900×600	740	885	700~910	○○○P-0960	○○○R-0960	○○○S-0960	・AEW型はH=740固定
900×750	740	885	700~910	○○○P-0975	○○○R-0975	○○○S-0975	
1200×600	740	885	700~910	○○○P-1260	○○○R-1260	○○○S-1260	・HAEW型はH=885固定
1200×750	740	885	700~910	○○○P-1275	○○○R-1275	○○○S-1275	
1500×750	740	885	700~910	○○○P-1575	○○○R-1575	○○○S-1575	・CFW型はフリーキャスター付
1500×900	740	885	700~910	○○○P-1590	○○○R-1590	○○○S-1590	
1800×750	740	885	700~910	○○○P-1875	○○○R-1875	○○○S-1875	・AWM型は高さ調節付
1800×900	740	885	700~910	○○○P-1890	○○○R-1890	○○○S-1890	

※○○○には、AEW・HAEW・CFW・AWMが入ります。

キャスター

75φゴム車	EW-75C	100φゴム車	EW-100C	100φウレタン車	EW-100CU

総発売元 **トラスコ中山株式会社**
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号

E-mail:techno.center@trusco.co.jp
お客様技術相談窓口
テクノセンター　0120-509-849

この取扱説明書は
地球環境保護のため再生紙を
使用しています。

日本製

取扱説明書

作業台用引出し

この度は、TRUSCO作業台用引出しをお買上げいただきまことにありがとうございます。本製品は付属の吊金具を用いることにより、ほぼ全ての作業台へ簡単に取付けることができます。また、左右にスライドさせることが出来る為、作業環境や作業行程、作業者の好み等に応じて、使い勝手のよい位置にセットして、ご利用いただけるオプションとして末永くご使用いただけます。

適応機種 ●F-1●F-2●FL-1●FL-2●UDC-001●UDC-002●NLD-2●NLD-3●NLW-3

安全上のご注意（必ずお守り下さい。）

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

⚠警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■傾いた状態で作業台に取付けない

傾いた状態で取り付けますと、引出しが勝手に開いたり閉まったりして怪我をする恐れがあります。

■側面や正面からの大きな力をかけない

引出しが破損、変形し、怪我をする恐れがあります。

■引出しに足をかけたり、本体の上に載ったりしない

引出しが破損、変形し、怪我をする恐れがあります。

■一度に複数の引出しを引き出さない

重心が偏り、作業台ごと転倒して破損、変形し、怪我をする恐れがあります。

■用途以外には使用しない

用途以外に使用しますと怪我の原因になります。

⚠注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■屋外や水のかかる場所に設置しない。また、ぬれたものを置かない

引出しにサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■組立は、この組立・取扱説明書に記載の組立て手順に従う

手順を誤ると組立中に部品が外れたり、作業台を起こした際に落下して、怪我をする恐れがあります。

■一部に集中荷重をかけない

■引出しの切断、改造をしない

引出しが不安定になり危険です。また、切断のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■引出しの底面・内側を素手で触らない

鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

■化学薬品や薬物を扱う作業には使用しない

腐食・変質などにより、引出しの品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■引出しの角に足などをぶつけないようにする

引出しが破損、変形したり、怪我をする恐れがあります。

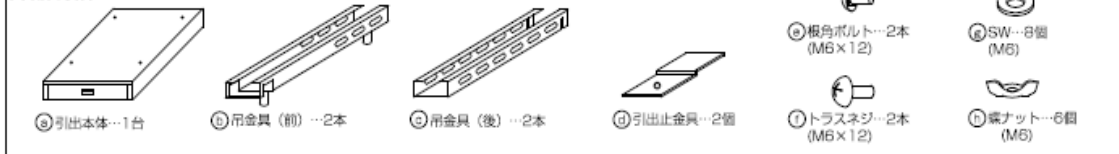
●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡しください。
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

作業台用引出し 組立説明図

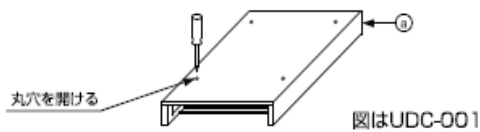
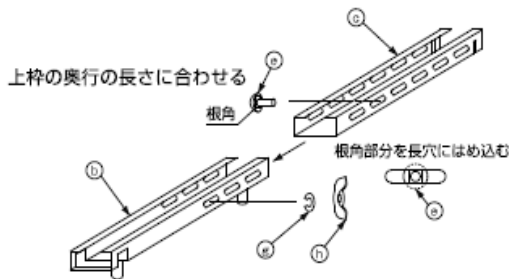
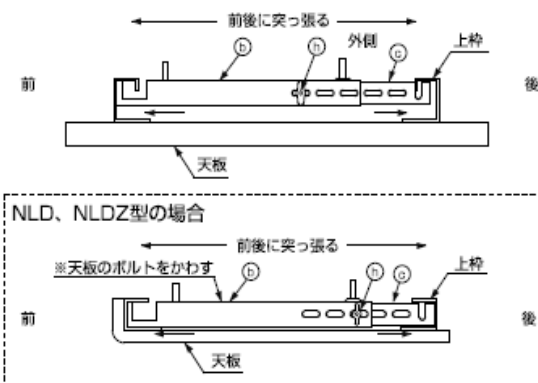
適応機種 ●F-1 ●F-2 ●FL-1 ●FL-2 ●UDC-001 ●UDC-002 ●NLD-2 ●NLD-3 ●NLW-3

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認下さい。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組立てて下さい。

部品明細

組立順序

1. 引出本体ⓐから引出を抜いて、引出本体ⓐの上面の半抜き穴をドライバー等で突破り、穴を開けて下さい。(4ヶ所)

※最初から丸穴が開いている場合はこの作業は必要ありません。

2. 吊金具(前) ⓑ の内側に吊金具(後) ⓒ を差込み、2本の長さを作業台の上枠に合わせて調節し、側面の長穴の内側から根角ボルトⓔの根角が長穴にはまるように差込み、外側からSWⓖと蝶ナットⓗで仮止めして下さい。(1ヶ所) もう一組の吊金具(前)ⓑと吊金具(後)ⓒも同様に取付けて下さい。

3. 作業台を逆さにした状態で**2.**で組立てた吊金具を図のように作業台の上枠の前面にあて(引出取付付近)、吊金具を前後に突っ張り、仮止めした蝶ナットⓗ をしっかりと締付けて下さい。(1ヶ所) もう一本の吊金具も引出本体ⓐの上面の穴のピッチと大体合わせ、同様に取付けて下さい。

4. 図のように、引出止金具ⓓと吊金具(後)ⓒで上枠を挟むように付け、ボルト穴を合わせ、SW ⓖ とトラスネジⓕで仮止めして下さい。(1ヶ所) もう一つの引出止金具ⓓも同様に取付けて下さい。

※上枠の奥行が600mm以下の場合は引出止金具ⓓは取付不要

5. 吊金具(前) ⓑ のボルトを引出本体ⓐの上面の穴に合わせ、引出本体ⓐを置き、SWⓖと蝶ナットⓗで仮止めし、引出本体ⓐを任意の位置に合わせ、蝶ナットⓗをしっかりと締付けて下さい。(4ヶ所) **4.**で仮止めした引出止金具ⓓのトラスネジⓕをドライバーでしっかりと締付けて下さい。

総発売元 **トラスコ中山株式会社**

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号

E-mail:techno.center@trusco.co.jp

お客様技術相談窓口 テクノセンター 0120-509-849

日本製